

# カボチャ

カボチャは、北アメリカから南アメリカにかけての地域が原産のウリ科野菜で、ビタミンやカロテンなどを豊富に含む栄養価の高い緑黄色野菜として知られている。「えびす」「九重栗」「坊ちゃん」「ロロン」等、様々な品種がある。

## 栽培カレンダー

|     | 1月 | 2月   | 3月   | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月   | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|-----|----|------|------|----|----|----|----|------|----|-----|-----|-----|
| 一般地 |    | ○    | △    |    | ○  | △  |    | □    |    |     |     |     |
|     |    | ○ 播種 | △ 定植 |    | ○  | △  |    | □ 収穫 |    |     |     |     |

## 栽培手順

### 1. 苗づくり

カボチャの育苗期間は1ヶ月程度と短く、比較的容易なので9～12cmポットに播いて育苗し、定植するとよい。

### 2. 畑の準備・植えつけ

種まきから30～35日後、本葉4枚程度の頃が植えつけ適期。植えつけは霜の心配がなくなる5月上旬以降がよい。

畝幅は90～120cm、株間は80～100cmとします。畝にマルチを張ると保温と雑草抑制の効果がある。また、植えつけ後にあんどんか、ホットキャップをすれば、保温効果と害虫予防効果があり、生育も早まる。

|    |      |          |       |
|----|------|----------|-------|
| 元肥 | 完熟堆肥 |          | 200kg |
|    | 苦土石灰 |          | 10kg  |
|    | 化成肥料 | 16-8-12  | 6kg   |
| 追肥 | 化成肥料 | 16-10-14 | 2kg   |

施肥例 (100m<sup>2</sup>)

### 3. 整枝

本葉5～7枚時に摘芯して子づる(4～5本)に整枝するか、親づると子づる(3～4本)に整枝する。子づるは、発生した子づるの中から元気の良いものを選んで残す。

### 4. 人工交配

雌花が開花した当日の午前8時頃までに、雄花の花粉を雌花の柱頭につけ、授粉させる。

### 5. 追肥

1回目の追肥は、第1果着果後、つるの先端部に1aあたり2kg程度の化成肥料を施用する。2回目以降の追肥は、果実が握りこぶし大になった頃、1aあたり2kg程度の化成肥料を、畑のところどころに追肥する。ただし、つるの伸びが旺盛な時や葉色が濃い場合は控える。

### 6. 敷きわら

つるがのびた分だけ敷きわらを施し、雑草の発生を予防するとともに、果実の汚れも防ぐ。


### 7. 収穫

開花後40～50日程度(積算温度900℃)で収穫できる。果梗部がコルク化して縦にひび割れが生じた頃が収穫適期の目安。長期間保存ができるので、収穫後5～10日は風通しのよい場所で風乾させた後、利用するまで貯蔵する。

## 8.病虫害防除

草勢が衰えやすい果実の着果時期は、うどんこ病やべと病が発生しやすいので注意する。

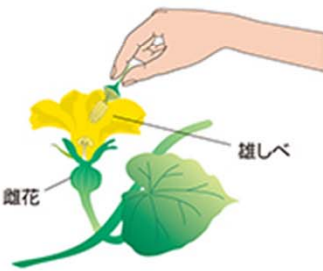
### カボチャの交配



雌花 (花弁除去)      ↑カボチャの雌花の開花      雄花 (花弁除去)      ↑カボチャの雄花の開花


受粉は通常ハチが自然に行いますが雨の日やハチがいない時、また株元近くの雌花で雄花が少ない場合には人工交配が必要です。

人工交配は、早朝ほど着果がよくなるので、遅くとも午前8時までは、受粉を済ませます。当日咲いた雄花の花弁を除去し、葯を雌花の柱頭になぞるように軽く触れさせます。この時、柱頭に花粉を均一に付着させること、強い力で柱頭に押しつけないことが大切です。



雌花      雄しべ

### カボチャの収穫



早どり、収穫遅れは禁物!  
果梗

雌花の開花交配後45～50日で完熟する。開花後の日数が分からない場合は、果梗部全体がコルク化したのを目安にします。



← 収穫適期前のカボチャの果梗部(未熟)。縦状にコルク化が始まったところ。



← 収穫適期のカボチャの果梗部(完熟)。コルク化が果実付近にも及んでいる。

カボチャの人工交配・収穫の例 (参考:タキイ種苗)